

## エネルギーコンサルティング—その価値はあるか？



弊社ペーター・ベックへのインタビュー

### **エネルギーコンサルティングはいつ、誰にとって価値があるのでしょうか？**

現在、中小企業であれ大企業であれ、隣のパン屋であれ大規模な産業であれ、ほぼすべての企業が、エネルギー価格の高騰に悩まされています。当分の間、状況の大きな改善は望めません。そこで、国の手厚い補助によって比較的安価にエネルギー消費を大幅に削減できるエネルギーコンサルティングを早期に実施すれば、財政面でのメリットが期待できます。特に大企業にとっては、二酸化炭素排出を避けるための政治的な圧力も高まっています。エネルギーコンサルティングを受けることにより、二酸化炭素排出量を削減し、環境保護に貢献することができ、ポジティブなパブリックイメージを得ることができます。

### **なぜ、エネルギーコンサルタントが必要なのでしょうか？**

エネルギーコンサルタントは、ビジネスの全体像を把握し、建物の改修やエネルギーコンセプト、生産プロセスの最適化についてアドバイスすることができます。また、連邦政府の補助金申請には、エネルギー性能証明書の発行と省エネ対策の経済性調査も必要となります。さらに、認定エネルギーコンサルティングに相談した場合のみ、連邦政府から補助金を受けることができます。

### **エネルギーコンサルティングでは、具体的に何が行われるのですか？**

エネルギーコンサルタントは、生産設備、ホール照明、換気システム、建物の外壁など、すべての消費を体系的に分析します。また、圧縮空気の使用、換気、冷却システムなど、特別な分野や各企業特有の分野も集中的に評価します。その結果、消費電力や冷暖房の必要性など、さまざまな情報を得ながら、具体的な対策案を含む省エネコンセプト、コストプラン、収益性分析をご提供します。

### **企業にとっては大変な作業なのでは？**

企業の皆様にとって、必要な時間数は、60分程度の短い初回ミーティングのほか、エネルギーコンサルタントが現地で様々な角度からエネルギー効率を検討するために、企業の規模にもよりますが1日程度となります。企業様からは、電気代、ガス代、暖房石油代、必要であれば建物の図面や設備図などの情報をご提供頂くのみとなり、比較的少ない負担で始めて頂けます。

### **どのような費用がかかりますか、また、どのような助成制度がありますか？**

中小企業向けのエネルギーコンサルティングの費用は、一定の上限の下、国が 80%まで負担してくれます。企業の規模にもよりますが、エネルギーコンサルティングにかかる自己負担額は 1,500~6,000 ユーロ程度です。しかし、助成制度が充実しています。推奨される省エネ対策(断熱性の向上、廃熱利用技術の導入など、より効率的な生産のための対策)への投資に対する補助金も魅力的です。例えば、既存の天然ガス、暖房用石油、石炭ボイラーの交換には、35%の投資費用補助があり、地中、地下水、廃水の熱を利用し、自然冷媒で作動するヒートポンプの場合はさらに 40%までの補助があります。一方、プロセス熱や蒸気を発生させるいわゆる高温ヒートポンプはすでに市場に出回っており、商業・工業分野でも使用することができます。建物外壁の改修工事に対する補助金は、現在、対象経費の 15%となっています。個別改修ロードマップ(iSFP)が追加された場合、5%のボーナスが追加されます。

### **ドイツにある日本企業も、エネルギーコンサルティングを受ける価値があるのでしょうか？**

もちろんです。エネルギーコストの高さは、ドイツの日系企業の皆様にとっても課題となります。ドイツに支社を有する日系企業の皆様も、補助金の恩恵を受けることができます。エネルギーコンサルタントでは、ドイツの複雑な指令や補助金制度をご理解頂くための支援も提供することが可能です。

### **エネルギーとコストを効率的に節約するために、お客様によくアドバイスすることは何ですか？**

既存の建物の場合、窓、ドア、屋根、外壁など、建物の外壁をチェックすることは非常に重要です。あまり知られていませんが、2002年2月1日以前に建てられた住宅は、建築エネルギー法(GEG)に基づき、購入者にエネルギー改修の実施が義務付けられています。2027年までに、公共建築物や非住宅建築物も、少なくとも総合エネルギー効率レベル F 消費値  $160\sim 200\text{kWh}/(\text{m}^2 \times \text{a})$ を達成するよう、エネルギー効率の観点から改修されることになっています。

また、エネルギーコストを削減するために欠かせないのが、暖房などの効率的なシステムエンジニアリングです。建物の暖房システムで必要とされる流量温度にもよりますが、ヒートポンプは、特に太陽光発電システムと組み合わせることで、重油や天然ガスのボイラーに代わる、賢明で環境に優しい選択肢を提供します。

製造業における実際の工場も重要となります。ここでは、特にエネルギーを多く消費する工程に注目し、より少ないエネルギー消費で最適化できるかをチェックします。小さな変化であっても、わずかな努力で効率化、つまりコスト削減につながるが多いのが特徴です。

### **他のエネルギーコンサルタントとの違いは何ですか？**

エコスは、エネルギー・環境技術分野における日独プロジェクトに 30 年以上携わってきた経験から、お客様のニーズに個別に対応し、必要に応じて日本語でのコミュニケーションをご提供することが可能となります。また、ドイツと日本、両国のエネルギーや補助金事情の違いについても熟知しており、特に日本企業の皆様に適切なアドバイスをさせて頂けるものと自負しております。ドイツに所在する企業の皆様には、政府の補助金をうまく活用しながら、エネルギー、そして、コストを効果的に抑えることを強くお勧めします。